

課題研究発表会

令和7年6月16日



教室に入りきらず廊下で
立ち見ができる発表もありました。



観一生の感想

- 【1・2年生】・探究することの面白さを感じた。
・研究の動機、目的をしっかり持って意味のある課題研究に
したいと思った。
- 【3年生】・聴衆を意識して発表することが大事。
・少しずつではあるがスライドも発表も質疑応答もレベルが
上がってきていると感じた。

香川県立観音寺第一高等学校

鹿児島県立国分高等学校

- 国分高校の生徒さんの観一に対する感想
- ・スライド内容をただ読むのではなく、しっかりと伝えたい意志を感じた。
 - ・発表スタート時の英語abstractがレベルの高さを感じさせる。
 - ・身近な疑問を統計処理に基づいて予想する研究手法が面白い。
 - ・質疑の内容が的を射ており鋭い。

発表の様子



課題研究紹介
物理分野 ②

理数科の3年生は3人1組で10チームが課題研究に取り組んでいます。
その研究内容についてシリーズでお伝えします。

研究テーマ「災害時の段ボールパーティションの吸音効果の検証」

1. 研究の背景と目的

避難所の生活では、話し声やいびきなどの様々な音が問題。避難所でも手に入りやすい段ボールを用いて、簡易的に音を減衰する機構を開発したい。

2. 実験手法

- 実験1 段ボール元来の吸音性能を確認するために、枚数を増やし、吸音効果を検証した。音源から音を出し、騒音計で音圧レベルを測定し、3回の平均値を結果とした。
- 実験2 段ボールの規格を実寸大に近づけ、穴をあけたり、組み合わせ方を変えたりしたときの吸音効果を検証した。

3. 結果

- 実験1 段ボールの枚数を増やすと、吸音効果が高まった。よって、段ボールには吸音効果があるといえる。
- 実験2 段ボール同士の隙間を1.0cm開けたとき、2.0cm間隔に直径0.20cmの穴をあけたときが、それぞれ最も吸音効果がみられた。

4. 今後の課題 より多くのデータを得るために、隙間の間隔や穴の大きさを変えて実験2を行う。

このSSH通信は観音寺一高のHPでも見ることができます。